



2016・8・11

第 247 号

101-0065 東京都千代田区
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

各地の経験に学び情勢にふさわしい役割発揮を

全国交流討論集会の受付開始

九条の会事務局は9月25日に開催される第6回全国交流討論集会の参加者の登録受付を開始しました。参加希望の方は、次の要領で申し込みをお願いします（事前に参加申し込みのない方は参加できません）。

*参加申し込みは、九条の会ホームページのトップページに掲載されている申込書の様式にしたがってファックスでおこなってください。複数参加の場合は1人1枚でお願いします。申し込み締め切りは9月16日（必着）ですが、その前に500人に達した場合には受付を終了させていただきます。

*参加申し込みできる方は地域・分野の九条の会に所属している方に限らせていただきます。

*参加申込書を受け付けた場合には、事務局から「参加証」をファックスでお送りします。

県下の九条の会が経験を交流

【愛知県／あいち九条の会】 あいち九条の会は7月23日、名古屋市で「第12回愛知県下九条の会交流集会を開きました。県内には地域・職場で約300の「会」が活

全国交流討論集会 実施要綱

- ①名称 九条の会第6回全国交流討論集会
- ②開催日 9月25日（日） 午前11時～午後4時
- ③会場 明治大学駿河台校舎 リバティール・タワー他
- ④次第
全体会議／呼び掛け人あいさつ、世話人（仮称）の紹介とあいさつ、事務局からの問題提起
<休憩・昼食>
分散会（5～6）・解散
- ⑤参加者 各地域・分野の九条の会の代表（事前登録制） 500人
- ⑥参加分担金 1人1000円

動。この日は52の地域・職場から102人が参加しました。

開会あいさつで代表世話人の山内一征氏は「参院選で改憲勢力が3分の2を超えた。改憲阻止へ会を拡大強化し、学習を強め、幅広い団体と改憲反対の共同を広げよう」と訴えました。

各地の「会」が活動を報告しました。

あぐい九条の会（阿久比町）の男性（90）が「5000 人を目標に戦争法廃止の 2000 万署名に取り組んだ。人口の 2 割を超える 6000 人以上が署名した。改憲ストップへさらに運動を広げる」と報告すると会場から大きな拍手が湧きました。

菱野九条の会（瀬戸市）は「会報を年 4 回発行し、地域の 6000 戸に全戸配布している」。みずほ九条の会（名古屋市瑞穂区）は「昨年の強行採決後、毎月 19 日、戦争法廃止宣伝をしている。回を重ねるごとに子育てママや若者の参加が増えている。保守の元議員も参加している」と報告。

昭和九条の会（名古屋市昭和区）の世話人は「区内には高校・大学が多い。改憲阻止には今後を担う若者にアピールすることが大切。毎年おこなっている平和のつどいやピースパレードの案内ビラを学校周辺で配布している」と話しました。

交流会に先立ち、同会事務局次長の本秀紀氏（名古屋大学教授）が「参院招後の憲法をめぐる情勢について」と題して講演。「自民党改憲草案の危険性を広げ、日本国憲法の価値を広げ、さまざまな運動と結合して、『本当に改憲を止めるんだ』の思いで、やれることはやりきろう」と強調しました。

統一候補勝利バネに前進めざす

【新潟県阿賀野市／阿賀野市憲法 9 条を守る会】 阿賀野市の憲法 9 条を守る会は 7 月 31 日、結成 11 周年記念集会を開き、100 人の市民が集まりました。

伊藤道秋代表（元新潟大学教授）は、森裕子野党統一候補が激戦を制して勝利した

参院選について、「市民連合が後押しをして新潟で野党統一が勝利したことは新たな希望だ」と述べ、改憲勢力が衆参両院で 3 分 2 を占める中で 9 条の会の重要性が今こそ高まっていると強調しました。

集会では、前新潟県沖縄県人会会長の上地源光さんが「沖縄・奪われた土地、歴史を踏みにじる政府」と題し記念講演。本土の権力から差別と貧困を押し付けられた歴史、沖縄戦とそれに続く過酷な米軍占領支配と沖縄県民のたたかいを解明しました。

集会 2 部は「皆で歌おう」の企画で、沖縄、平和の歌を全員で合唱しました。

原爆投下の日に各地で行動

【千葉市緑区／総がかり行動緑区民の会】

「戦争させない 9 条壊すな！総がかり行動・緑区民の会」（戦争させない緑区民の会）は 8 月 6 日、区内の鎌取駅周辺で第 3 回総がかり行動を行いました。

この日は広島に原爆が投下された日、旧七夕の時期。約 30 人で「原爆許すまじ」などの歌声を響かせ、七夕のササ飾り 4 本を用意して宣伝しました。

行動には、土気と誉田の両「9 条の会」、民主商工会、年金者組合、健康友の会、青年組織 G I C なども加わり、党派をこえてリレートーク。それぞれのグッズで署名や宣伝をし、共同のたたかいの継続をアピールしました。

市民の中には「楽しく平和運動してるね」など声をかけていく人もいました。

【栃木県さくら市／九条の会等】 「広島原爆の残り火」をともし続ける栃木県さくら市の東輪寺で 6 日、「2016 年平和の鐘

をつく集い」が行われました。檀家や各地で活動する9条の会員ら約60人が、原爆投下の午前8時15分に黙とう。核兵器廃絶の実現への誓いを込めて「平和の鐘」をつきました。

人見照雄住職(69)は、檀家の子ども35人が戦死したことを振り返り「私の心するところは、戦争をしてはならないことです。平和がいちばん大切です」と話しました。

県原爆被害者協議会の中村明会長(85)は、被爆体験について講演。14歳で入った長崎県の三菱製鋼技術学校の工場で被爆した当時の状況や、全身に黒い斑点が広がり死亡した母や、行方不明の姉のことにふれ、家族の絆を壊した戦争の非情さを告発。「語り部として、力の限り、核兵器をなくす大切さを伝えていきたい」と述べました。

同寺の「残り火」は、2000年に分灯を受け、現在、東輪寺の境内3カ所でもとされています。県内の国民平和大行進の際には、ランプに分灯され、行進の先頭に掲げられています。

【茨城県古河市／古河市9条の会】 古河市9条の会は6日、新日本婦人の会古河支部とともに、核兵器廃絶の国際署名に取り組みました。

横断幕を掲げる宣伝を撮影して「感動した。ネットで配信したい」と話し、「子どもや孫たちのためにぜひ、署名をしてください」と飛び入りで訴える人など反響がありました。

中国やネパールの人も署名に応じていました。約60人分の署名と1000円のカンパが寄せられました。

戦争法のたたかいはこれから…

【長野市／若槻北部九条の会】 8月3日の炎天下、若槻北部九条の会は毎月スタンディング行動をしている車の通りの激しい若槻大通り交差点で、「アベ政治を許さない」のボードをもって訴えました。

車から「ごくろうさん」の声がかかります。「毎月3日にはやっていますね。がんばって」と激励していく方も。今まで一度も欠かしたことはありません。正月の3日にも立ちました。

参加者は「選挙だからやるものではありません。安倍政権の政治をやめさせたいのです。20人以上来るときもあります。時にはたった3人だけでも休まずやりました」「戦争法のたたかいはこれから。頑張ります」「原水爆禁止世界大会が始まりました。核兵器も戦争も、この世からなくしたい。子どもたちのために多くの人と手をつなぎたい」と、それぞれの参加の思いを語りました。

「竿灯まつり」の観光客に

【秋田市／秋田九条の会】 秋田市では「秋田九条の会」などが呼びかけ、3日から始まる「秋田竿燈まつり」の観光客などにぎわうJR秋田駅前仲小路アーケードでビラなどを配布しました。ビラを受け取った70代の男性は「平和憲法、9条の通りに進めていけば何の問題もないのに、なんで安倍政権は変えようとするのか。許せないし、戦争なんて絶対反対だ」と批判しました。

「私たちもやってます。頑張ってください」と声をかける 県外の人もいました。

午後一時にポスターを元気に掲げると、子ども連れの家族や夏休み中の高校生などが手を振って激励するなど、注目を集めました。

潟上市では「潟上九条の会」が県道沿いで行動。「子どもたちを戦争に絶対送らない」の手作りボードやのぼりなどを手に、信号待ちの車や買い物客などへアピール。車から笑顔で手を振る人や、通りがかりの女性が声をかけ「私も何かお手伝いしたいので、今度声をかけてください」と激励。参加者らは「暑い時期だけど、来月も元気に頑張ろう」と意気込んでいました。

美術通じて9条の大切さ訴え

【岡山県／岡山九条美術の会】 岡山九条美術の会が主催する「岡山九条美術展 12」が8月2日、岡山市の岡山県天神山文化プラザ2階で始まりました。7日まで。

憲法9条改正に反対し、平和を望むプロから市民、高校生、小学生ら48人が絵画、工芸などの作品100点を展覧しました。

「ひとつの情報以外の情報を隠す」という着想から新聞を塗りつぶした作品のほか、紙芝居形式で18歳選挙権に至る選挙権の歴史や現在の有権者の考え方を調査で示した作品、戦争の悲惨な写真に囲まれた平和な営みの写真の対比作品などを展示。絵画では広島を細いペンで漫画風に描いた作品、フランスの風景の線描に色をつけたデザインポスターのような作品など多彩です。

同展は2004年の九条の会アピールを受けて4人で始まり、年々参加者が増えています。今年で12回目。

「親と子の平和まつり」つづけて

【岐阜市／長森・日野九条の会】 岐阜市の長森・日野九条の会による毎年恒例の「親と子の平和まつり 2016」が7月23日、長森コミュニティセンターで行われ、昨年を上回る150人が参加しました。

実行委員長の恒川正美さんは開会あいさつで「参院選の結果は改憲勢力が3分の2を占めたが、国民は白紙委仕したわけではない。世論調査でも、改憲に反対が多数を占めている。『9条守れ』の世論をさらに広げていこう」と述べました。

71年前の7月9日、岐阜空襲で900人の命を一瞬に奪った記録映画「芽吹け（めぶけ）ミヤコよ」を上映、岐阜九条の会の吉田千秋さんの「平和についてのおはなし」のあと、地元婦人団体「ジュジュの会」による「愛と平和のシャンソン」が披露され、参加者総立ちで円になり、歌、踊りに大歓声が上がりました。

劇団「風の子」による「たっだいま～のいってきま～す」では、子どもたちが大笑いで拍手を送っていました。

会場には熊本、東北地震や岐阜空襲の写真などが展示されました。

60代の女性は「戦争、平和のことを地域ぐるみで継続することは本当に大事。子や孫にも向き意って話せるようにした」と語っていました。

《おことわり》

8月21日発行予定の「九条の会ニュース」は、編集部の都合により休刊とさせていただきます。